

人事記人濟

人閣議第二七四号

起案

平成五年二月九日

閣議決定

平成五年二月一日

施行

平成五年二月一日

内閣総理大臣

野

内閣官房長官

内閣官房副長官

武



内閣参事官



羽田 国務大臣

畑 国務大臣

五十嵐 国務大臣

江田 国務大臣

三ヶ月 国務大臣

熊谷 国務大臣

佐藤 国務大臣

久保田 国務大臣

藤井 国務大臣

伊藤 国務大臣

愛知 国務大臣

武村 国務大臣

赤松 国務大臣

神崎 国務大臣

石田 国務大臣

広中国務大臣

大内 国務大臣

坂口 国務大臣

上原 国務大臣

山花 国務大臣

検事長

吉

永

祐

介

検事総長に任命する

一級に叙する

内

閣

外務事務官

菊

地

康

典

特命全権公使

伊集院

明

夫

外務事務官

秋

山

進

同

渡

邊

旻

特命全権大使に任命する

同

河

村

武

和

特命全権公使に任命する



法務省人任第3348号
平成5年12月7日

内閣総理大臣殿

法務大臣



下記のとおり人事異動を実施したい内議がありますので、
閣議の上、発令願います。

なお、本件は、平成5年12月12日付けで退官予定の
検事総長岡村泰孝の後任に東京高等検察庁検事長吉永祐介を
充てようとするものであります。

記

東京高等検察庁検事長 検事長 吉 永 祐 介
検事総長に任命する
一級に叙する

(平成5年12月13日付け)

法
務
省

本籍	現住所	出生地	出生年月日	旧氏名	事項	庁名	年 月 日		
							年	月	日
ふりがな	よしなが	ゆうすけ	昭和七年二月一四日生						
氏名	吉永祐介								
二七	一一	一七	司法試験第二次試験合格	司法試験管理委員会					
二八	三		岡山大学法文学部法科卒業						
〃	四	一	司法修習生を命ずる	最高裁判所					
三〇	四	七	司法修習生の修習終了						
〃	〃	九	検事二級（東京地方検察庁検事）に採用する	法務省					
三一	三	三一	長野地方検察庁検事に配置換する						
〃	八	二〇	札幌地方検察庁検事に配置換する						
三三	八	一〇	東京地方検察庁検事に配置換する						
昭和三三	八	一〇	東京地方検察庁八王子支部勤務を命ずる	法務省					
三五	八	一	東京地方検察庁八王子支部勤務を免する						
四七	八	一五	法務省刑事局参事官に充てる						
〃	〃	〃	かねて法務総合研究所教官に充てる						
〃	〃	二五	かねて法務省人権擁護局付に充てる						
四八	四	一七	法制審議会幹事に併任する						
〃	九	一九	連合王国、オランダ、ドイツ、スイス、イタリア、フランス及びアメリカ合衆国の各国へ出張を命ずる						
〃	〃	二八	出張期間は昭和四八年一〇月六日から同年十一月九日までとする						
〃	〃	〃	連合王国ロンドンにおいて開催の一九七三年海洋汚染国際会議						
〃	〃	〃	日本政府代表代理を命ずる	内閣					
〃	〃	二〇	連合王国ロンドンにおいて開催の一九七三年海洋汚染国際会議						

[illegible]

(在メルボルン日本国総領事館) 外務事務官 菊地 康典

(在ジュネーヴ国際機関) 特命全権公使 伊集院 明夫
日本政府代表部

(在ミラノ日本国総領事館) 外務事務官 秋山 進
総領事

(在スラバヤ日本国総領事館) 同 渡邊 旻

特命全権大使に任命する

(在フランス日本国大使館) 同 河村 武和
公使

特命全権公使に任命する (以上十二月十三日付)

右のとおり発令を願います。

平成五年十二月七日

外務省

外務大臣 羽田



内閣総理大臣 細川 護熙 殿

おつて、菊地大使にはフィジー国駐箚、伊集院大使にはオマ
ーン国駐箚、秋山大使にはイエメン国駐箚、渡邊大使にはリビ
ア国駐箚を、また、河村公使には在フランス日本国大使館在勤
をそれぞれ命ずるものであります。

履 歴 書

本籍

旧姓名

きく ち やす のり
菊 地 康 典

昭和一四年八月一〇日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三 七	九	外務公務員採用上級試験合格	
三 八	三	一橋大学法学部卒業	
	四 一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	八一 九	在アメリカ合衆国日本国大使館在勤を命ずる	
		命ずる	
		外交官補を命ずる	
外 務 省			
昭四 一	一 一 七	在ソヴィエト連邦日本国大使館在勤を命ずる	
		命ずる	
	七 一	三等書記官を命ずる	
四 三	七 一 五	大臣官房国際資料部調査課勤務を命ずる	
		命ずる	
四 四	二 二 四	大臣官房国際資料部分析課勤務を命ずる	
		命ずる	
四 五	一 二 二 一	大臣官房調査部分析課勤務を命ずる(法律第一二六号及び政令第三三八号)	
四 六	四 五	アジア局地域政策課勤務を命ずる	
四 八	七 二	在オーストラリア日本国大使館在勤を命ずる	
		命ずる	
		二等書記官を命ずる	

四九	一	一等書記官を命ずる	
五一	一〇	在ケニア日本国大使館在勤を命ずる	
五三	八一四	国際連合局軍縮課長に昇任させる	
五六	一三一	国防会議事務局事務官（参事官）に任命する	
		国防会議事務局勤務を命ずる	
五七	五二〇	外務事務官（在ユーゴスラヴィア日本国大使館）に転任させる	
		参事官を命ずる	
五八	九一	在ブラジル日本国大使館に配置換する	
六〇	一〇一五	在ノールウェー日本国大使館に配置換する	
六二	一	ノールウェー国駐劄特命全權大使を補	
外務省			
		佐しノールウェー国に在勤する期間公	
		使の名称を与える	
昭六三	九一	大臣官房に配置換する	
	〃	内閣審議官（内閣官房内閣外政審議室）に併任する	
		インドシナ難民対策連絡調整会議事務局長を命ずる	
平三	七三〇	在メルボルン日本国総領事館に配置換する	
		総領事を命ずる	

履 歴 書

本籍

旧姓名

伊集院

明

夫

昭和一五年一月三日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三八	九二七	外務公務員採用上級試験合格	
三九	三	東京大学教養学部教養学科卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	八一八	在連合王国日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
四一	八四	経済局勤務を命ずる	
外 務 省			
昭四四	一二七	欧亜局大洋州課勤務を命ずる	
四五	六一	在連合王国日本国大使館在勤を命ずる	
		三等書記官を命ずる	
四六	四一	二等書記官を命ずる	
四八	一二二	情報文化局文化事業部文化第二課勤務を命ずる	
四九	四一	欧亜局西欧第二課勤務を命ずる	
五二	一一〇	中近東アフリカ局中近東第一課に配置換する	
五四	一二九	在大韓民国日本国大使館に配置換する	
		一等書記官を命ずる	
五六	一一	参事官を命ずる	
五七	三一八	情報文化局海外広報課長に配置換する	

五九	七	一	中近東アフリカ局中近東第一課長に配
六一	八	一	置換する 大臣官房領事移住部領事第一課長に配
六二	一	一	置換する 在インドネシア日本国大使館に配置換
六三	一	一	参事官を命ずる インドネシア国駐劄特命全權大使を補
			佐しインドネシア国に在勤する期間公
			使の名称を与える
平二	一	五	在ジュネーヴ国際機関日本政府代表部 に配置換する
			在ジュネーヴ国際機関日本政府代表部
			在勤特命全權大使を補佐し在ジュネー
			ヴ国際機関日本政府代表部に在勤する
			期間公使の名称を与える
平二	一	五	在ジュネーヴ日本国総領事館に併任す
			る
			総領事を命ずる
五	八	一	特命全權公使に任命する
			在ジュネーヴ国際機関日本政府代表部
			在勤を命ずる

外務省

履 歴 書

本籍

旧姓名

あき やすむ
秋 山 すすむ 進

昭和一二年二月二四日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三三	二 一	昭和三十一年度外務書記採用試験合格	
	三	大阪外国語大学英语学科中退	
	四 一	外務事務官に任命する	
		大臣官房勤務を命ずる	
三四	三二〇	在アラブ連合日本国大使館在勤を命ずる	
		る	
		副理事官を命ずる	
外 務 省			
昭三八	六二五	在サウディ・アラビア日本国大使館在勤を命ずる	
四〇	八二三	経済局中近東課勤務を命ずる	
四二	一六二〇	在アラブ連合共和国日本国大使館在勤を命ずる	
		三等書記官を命ずる	
四六	四 一	二等書記官を命ずる	
	一五	在シリア日本国大使館在勤を命ずる	
四八	八三一	経済局勤務を命ずる（国際資源室）	
四九	五二〇	経済局資源課勤務を命ずる（政令第一七〇号）	
五一	三一	在アラブ首長国連邦日本国大使館在勤を命ずる	

			一等書記官を命ずる	
五三	八一五	在メルボルン日本国総領事館に配置換	する	
		領事を命ずる		
五五	四一	上級に登用する（昭和三十九年度扱）		
	一六	在サウディ・アラビア日本国大使館に	配置換する	
		一等書記官を命ずる		
五七	一	参事官を命ずる		
五八	二一	北米局調査官に配置換する		
	四五	経済局資源第二課企画官に配置換する		
	六一	経済局調査官に配置換する		
五九	七一	経済局海洋課企画官に配置換する		
外 務 省				
昭六一	八一五	在オランダ日本国大使館に配置換する		
		参事官を命ずる		
六三	八一五	在サウディ・アラビア日本国大使館に	配置換する	
		サウディ・アラビア国駐劄特命全權大	使を補佐しサウディ・アラビア国に在	
		勤する期間公使の名称を与える		
二	一〇一	在ミラノ日本国総領事館に配置換する		
		総領事を命ずる		

履 歴 書

本籍

旧姓名

わた なへ
渡 邊

あきら
曼

昭和六年八月三〇日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	序 名
昭二九	二二〇	昭和二十八年年度外務書記採用試験合格	
	三	東北大学法学部卒業	
	四 一	外務事務官に任命する	
		条約局第四課勤務を命ずる	
三一	四 一	条約局第三課勤務を命ずる	
三三	五一〇	条約局法規課勤務を命ずる（政令第一 一三号）	
外 務 省			
昭三五	八 一	在オランダ日本国大使館在勤を命ずる	
		副理事官を命ずる	
三八	四一八	在イラク日本国大使館在勤を命ずる	
三九	四 一	三等書記官を命ずる	
四〇	八 一	条約局法規課勤務を命ずる	
四四	三一五	在ジュネーヴ国際機関日本政府代表部 在勤を命ずる	
		二等書記官を命ずる	
四六	一〇 一	在サン・フランシスコ日本国総領事館 在勤を命ずる	
		領事を命ずる	
四九	三 一	アメリカ局北米第一課勤務を命ずる	
五二	一〇 一	在エジプト日本国大使館に配置換する	

[illegible]

履 歴 書

本籍

旧姓名

河村武和

昭和一八年八月二八日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三九	九一八	外務公務員採用上級試験合格	
四〇	三	東京大学法学部第二類中退	
	四一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	七五	在フランス日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
四二	七一	在ジュネーヴ国際機関日本政府代表部	
外 務 省			
		在勤を命ずる	
昭四二	七一	三等書記官を命ずる	
四四	七八	国際連合局勤務を命ずる（経済課）	
四六	七二二	条約局勤務を命ずる（条約課）	
四九	一一一	大臣官房勤務を命ずる（海洋法会議関係事務推進本部事務室）	
五〇	七一	在イラン日本国大使館在勤を命ずる	
		一等書記官を命ずる	
五二	七一	国際連合日本政府代表部に配置換する	
五四	七二	条約局に配置換する	
五五	四一	内閣法制局参事官（第三部）に昇任させる	
五七	七九	外務事務官（条約局法規課長）に転任	

[illegible]

閣 議 説 明 メ モ

閣議日 12月10日(金)

発令日 12月13日(月)

●特命全権大使に任命する

フィジー国駐節を命ずる

外務事務官(在メルボルン日本国総領事館領事)

菊 地 康 典

9/20 命帰朝

菊 地 康 典 → フィジー国駐節
堀 靖 夫
12/1 命帰朝

●特命全権大使に任命する

オマーン国駐節を命ずる

特命全権公使(在ジュネーヴ国際機関日本代表館館長)

伊 集 院 明 夫

10/1 命帰朝

伊 集 院 明 夫 → オマーン国駐節
堀 治 夫
12/1 命帰朝

●特命全権大使に任命する

イエメン国駐節を命ずる

外務事務官(在ミラノ日本国総領事館領事)

秋 山 進

秋 山 進 → イエメン国駐節
鰐 淵 和 雄
12/1 命帰朝

●特命全権大使に任命する

リビア国駐節を命ずる

外務事務官(モスバヤ日本国駐節事務官)

渡 邊 旻

渡 邊 旻 → リビア国駐節
沼 田 英 夫
8/27 免リビア国駐節
11/26 退官

●特命全権公使に任命する

在フランス日本国大使館在勤を命ずる

外務事務官(在フランス日本国大使館公使)

河 村 武 和

(前任者なし)